七千万圓のカンパ
代議員囲み深夜まで交流

総評大会は予期以上の成果を残して安保と三池に総力を挙げて、さいごの攻撃をかけることとなつた。大会では七千万円のカンパをはじめ百万円の食糧物資、農民からの米麦二十一俵のカンパなど、心暖まるカンパが続々と寄せられた。大会で、総評代議員は切迫した安保闘争の貴重な時間を割いてピケ隊、社宅の激励まで行つたが、当夜、各社宅では夜の更けるのも忘れて代議員を囲み交流を深めたが、三池の闘いはこの大会を契機にさらに燃え上ることになろう。

田を奪った寄せ旗

総評の大会が東京いがいの地方で開かれたことは、全く異例でもあり画期的なことだった。このことは三池の闘いが、すでに全国的な闘いの中におかれていることを物語っているのだ。この日、会場にあつまられた市民会館は、建物前面が、全国の仲間から三池へ送られた寄せ書きの赤旗を縫り合せた、巨大な赤旗でスソポリつつまれ、一大圧巻であつた。道行く人たちがいちように足を停めて見上げてゆく。会場へつぎつぎと乗つてくる代議員たちも「ほホツ」と見上げてゆく。

会場前には、定刻前はやくから組合員・主婦・行動隊員がつめかけつぎつぎと会場へ入つて行く代議員に熱烈な拍手を送つた。二日目会場前には、早朝から主婦会員がつめかけ、みんな座りこんで代議員の入場するのを待ち、入場するたびに熱烈な拍手を送つた。

会場内は二日間とも傍聴者で満員三階の入口まであふれ、ウダルような警さのなかで、汗を拭き拭き一言も聞きもらすまいと耳をそばだて立つていた。

会場の外でも、多くの人が座り込んで場外向けのスピーカから聞こえる、大会のもようを熱心に聞き入つていた。

（上）圧巻、建物前面を覆う寄せ旗

【下】ホツパーピケ隊を激励する大会代議員

農民から21俵カンパ

会場入口の受付の左右には赤旗数十本がスラリと並び立ち、その中にまじつた「安保ハンタイ、岸ヤメロ、三池の仲間ガンバレ」と大書した農民のムシロ旗が、一キワ異彩を放つて注目されていた。

受付には、闘う労働者と農民を描いた絵画が掲げられていた。中立労連代表の動力車労組林副委員長のあと、全日本農民組合の野溝委員長は「三池闘争の勝利こそが、私たち平和と独立運動を擁護しているものだ。三池の闘いに対して、気持だけでなく、ぜひ勝たねばならぬと、代議員との交流を通じてつくづく感じた。

心強さ感じる

代議員の方が四国の金属労組の話をされた。三池とは似たケースであり、ここは第一と第二に分れ、第二組合の方が人数が多いが、第一組合はついにユニオンショップをきめました。カンパ箱が場内を回つたが、あちらこちらから百円紙幣が投げこまれ、たちまち七万九千円が集まつた。

三池労組組合員、主婦に対する激励決議が行われたあと、太田議長から七千万円カンパと百万円相当の金額が宮川組合長に渡された。太田議長は「三池の組合員、家族の皆さま、これは私たちのささやかなカンパ七千万円です。皆さん胸を張つて受けとつてください。勝利のため集つた金です」といえば、感激につつまれた組合長は「カンパのお礼は勝つことです。勝つ以外にありません」と決意を述べれば、場内は万雷の拍手につつまれ、勝利向けて闘志はいやが上にも高まつて行つた。

会場はトラック一台に積まれ組合に到着したが、この日だけに各支部で配分され、仲間の暖い映を家族みんなでかみしめた。

こんどはこちらから贈ろうと、太田さん岩井さん大会議長さん各単産代表に、各地域「ホツパーバイプ」を贈呈した。

「ピケの合間に暴を仰いでつくつたものです」と組合長から、キレイに塗装した直径大寸、長さ二尺の大パイプにはじまるこの贈呈風景に、会場に明るい笑いと拍手がしばしつづいた。

太田さんは早速、デカいパイプを抱えて、吹かす恰好をしたし、感激笑がウズ巻いた。

感動の社宅激励

代議員は大会ご、本部まで三台二台に分乗し、各地域やホツパーピケ隊をねぎらつて激励した。

ホツパー、各地域の激励は感動の連続だつたとある代議員は語つていた。ピケ隊や主婦に握手をして回る代議員、別れるバスの窓からちぎれるほど手が振られている。労働者のみが知る連帯の握びだ。バスが見えなくなるまで手を振つている主婦の目には涙が光つていた。

逆に激励された

紙パ　中田

社宅の激励はとても感動させられた。現地はこんなに張切つているんだと知らされ、却つてこちらが激励された。こんなに闘つている人びとがいることを、帰つたら皆に伝えることに「三池を守る会」をますます固めねばならぬと決意した。

社宅激励はとても感激が深かつた窓から声をかけると、主婦の一人ひとりが「頑張ります」と応えられるが、目頭が熱くなり、働く者の共感をヒシヒシと感じた。三池だけの闘いでないという感銘が強く心に残つた。恐らく五百人の代議員は、有形なオルグとして各組合に帰つたら活動されるだろう。

それなら会場正面の寄せ旗はとても気に入つた。舞台正面の絵もすばらしく、実に闘うに赤裕があるというか、演出がうまいというか直面する安保闘争については、当三池の皆さんに申上げたいことは、敢組はもつと労働者の連帯性を強めることで、完全なカンパ活動をやります。これほど国家権力の攻撃が集中した中で百数十日闘つている決意を、われわれが皆持つたら何も恐れることはない。この闘争を学んで徹底的に闘うことを誓う。

世界的に教宣強化を

【合化労連】

総評の資金カンパには感謝するが、もつと三池闘争の認識を深めて貰うために資金カンパを中心とする支援態勢を強化して頂きたい。一万円生活は子供にも影響を及ぼしており、独占資本の力が子供にまで及んでいる。このため全国の中立単産を含めてのことを決議して貰うとともに、この問題を職場の中で消化させて頂くよう心からお願いする。

三池闘争の教宣活動、三池の実態を、国内はいうに及ばず世界的にもつと教宣して貰いたい。

完全なカンパを誓う

【日教組】

三池については今一つ大事なことは、私共がもつている生産点での闘いを通じて、三池の闘いをゆるがせにしないことで包んでゆかねばならないことである。三池支援のための全国的統一行動を明確に提案の中に挿入して貰いたい。われわれは、非常な高まりと決意をもつてのぞんでいる。

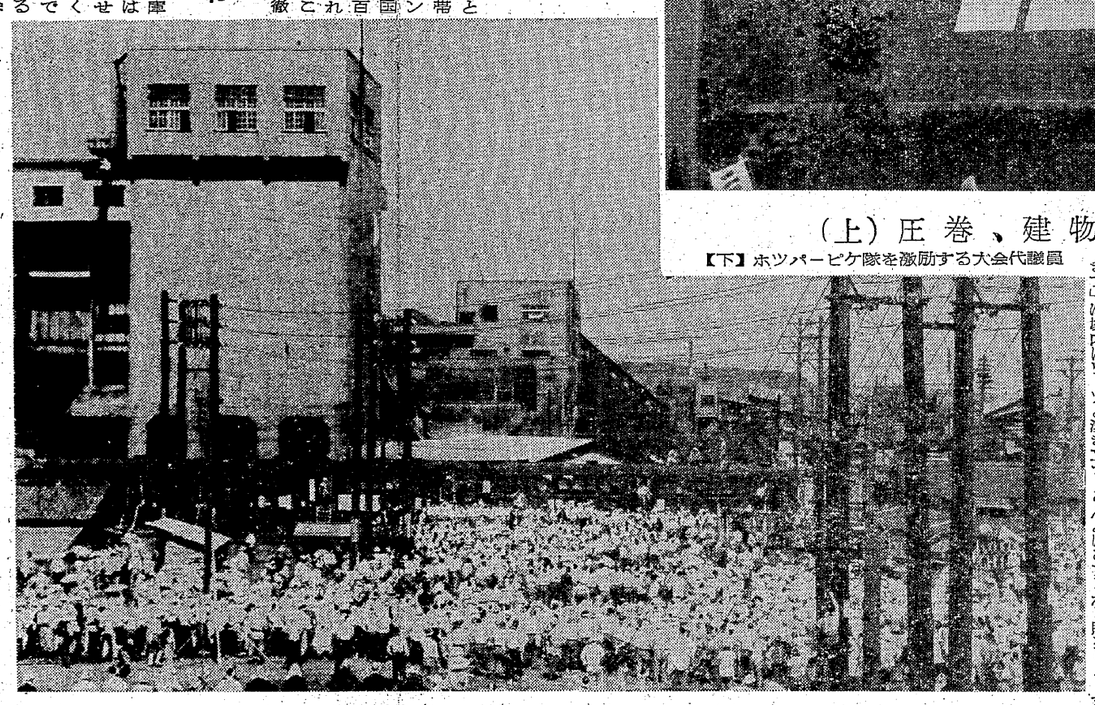
実力行使の態勢作れ

【全　逓】

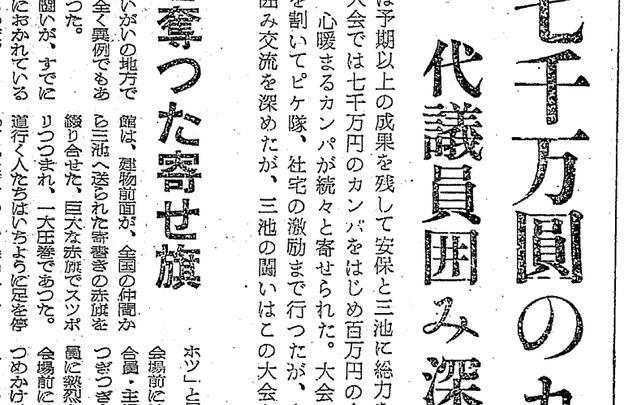
総評は三池カンパ金を労働金庫から借金し、各単産の未納金はその組合が総評からの借金とせよ。そして、この機会に、少くとも全労働者がどういう形にもせよ実力行使の態勢に入れるものをつくつて頂くよう、大会で結論を出して頂きたい。

財政の許す限り

【国鉄】提案原則的



（上）拍手の中を入場する代議員たち
【下】社宅激励で代議員と主婦の血は通い合つた。



15日の全国スト
六・四ストを更に上廻る

大会では安保と三池の闘いに対して終始代議員からつよい意見が出され、安保と三池の闘いを一体として、こんご強力な闘いをおしすすめることが、異常なまでの盛り上がりの中で決定された。

二日間の大会を通じて痛感されたのは、きわめて働くものの連帯感が満ち溢れていたということだつた。

直面する安保闘争については、当初十七日に全国的ストライキの統一行動が提案されていたが、大会の最終日、切迫した情勢を考慮して十五日に再提案され、民間労組は二十四時間スト、官公労もこれに見合うよう前回を上廻るような実力行動を満場一致で決定したが、具体的行動は大会で十一日、東京で全単産代表の招集を行つて最終決定をすることになつた。

前回の六・四ストを上廻る第二次全国ストライキが決行されることとなり、この結果は岸内閣には決定的な打撃を与えずにはおかないであろう。

○　民間労組では炭労、全国金属、全鉱、全自労、全印総連、全自運などの組合が二十四時間ストを行うが、とくに私鉄総連では全国一斉に始発から午前六時半までの時限ストを予定している。合化労連＝半日から二十四時間スト、全港湾＝半日以上のスト、化学同盟＝半日以上のスト、紙パ＝半日スト、全国一般＝半日から二十四時間スト、全自放労＝一時間以上の